

春のヒグマ注意特別期間が始まります!

北海道では、**4月1日(水)～5月31日(日)までの期間を『春のヒグマ注意特別期間』**に設定しています。

春はヒグマが冬眠から目覚め、積極的に活動を始めます。

ヒグマによる事故を避けるためには、『ヒグマを人里付近へ引き寄せないこと』、『ヒグマと出会わないこと』が大切です。

そのため、日常生活や山林に入る際は、次のことに注意しましょう。



日常生活で気を付けること

- ☑ **ゴミ出しは収集日の朝に行う**
(収集日前、夜間などにゴミを出さない)
※とくに『生ゴミ』などのにおいが強いもの
- ☑ **家庭菜園などでの野菜や果実などの適切な管理**
 - ・野菜などを放置しない
 - ・コンポスト(肥料)などを放置しない
 - ・クマなどの形跡が見られたら片づける など
- ☑ **所有する土地の適切な管理**
 - ・可能な範囲での草刈 など



山林に入る際に気を付けること

- ☑ **行き先、戻る予定時刻などを事前に誰かに伝える**
- ☑ **1人での行動は避け、複数人で行動する**
- ☑ **フンや足跡などを見つけた場合はすぐに引き返す**



足跡



フン(草本)



食痕(フキ)

- ☑ **ゴミや食べ物は必ず持ち帰る**
- ☑ **出没情報などについて事前に調べる**



◀北海道庁
ホームページ
ヒグマ注意情報



◀福島県ヒグマ情報
ひぐまマップ
(2026年分)

ヒグマの1年

事故多発

事故多発

冬眠・出産			冬眠明け		子グマの親離れ繁殖期		山野のエサが少なく農業被害を起こすことも			冬眠準備		冬眠
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	

ヒグマに出遭ってしまった場合

遠くにヒグマを見つけたら

落ちついて状況を判断してください。ヒグマがこちらに気づいていないなら、その場から静かに立ち去りましょう。

ヒグマがこちらに気づいたら

ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。あわてることは事故につながります。まず落ちつくことです。普通にしていれば、ほとんどのヒグマは立ち去るはずですが。

それでも近づいてきたら

ヒグマから視線をはなさないでください。そしてヒグマの動きを見ながらゆっくりと後退してください。

走って逃げるのは自殺行為

ヒグマを刺激しないことです。まず落ちついてゆっくりと後ずさりしてヒグマから目を離さず、その場から離れましょう。

子グマの後ろに必ず母グマあり

可愛いからと近づかないで!

子グマを見つけたら絶対に近づかず、すみやかに立ち去ってください。母グマは子グマを守ろうと攻撃してきます。

襲い掛かってきたら

100% 完全な対応ではないですが

北米では、首の後ろを手で覆い、地面に伏して、頸部、後頭部への致命傷を防ぐ方法を勧めています。道内の死亡事故でもこの部分が致命傷となっている事例がみられます。攻撃を止めるためには、クマ撃退スプレーが有効です。

お問い合わせ先 産業課 農林係 ☎47-3002